

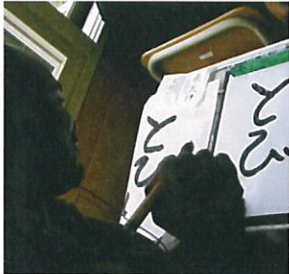


旭川

### 青年研修員たちの週末の楽しみ ～驚き驚かされ～

国際協力推進員/石井 JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内)

研修の合間をぬって市内を案内するのも旭川デスクのお仕事。今回は週末を利用して大型電機



▲訪問先の旭川市立光陽中学校でのひとコマ。習字の先生は当校の生徒。真剣にひらがなで自分の名前を書いています。「トビ(Tovi)」これがまた上手い!

店に買い物へ行きました。公共交通機関(バス)で移動すると、「お金はだれが集めるんだ?」「どこから乗ったかどうしてわかるんだ?」と研修員。まずは日本の料金システムを話すと、しっかりしていることに驚き、

偶然にも女性の運転手でさらに驚いていました。

広い店内しかも品物の多さに喜びを感じ気持ちも高まり、日本製のは品質もよく宝の山を見た感覚でその日はデジカメを購入していました。何日か経ち「昨日、また大型電機店に行ってきた!」と話すのでどうやって行ったか聞いてみると「ちょっと小高いところから、煙突の煙が見えたんだ(パルプ工場の)。店はその近くにあったから、煙をめがけて歩いて行ったんだ。30分で着いたよ!早いだろ～、近道も発見したのさ!」さすがケニア人。目標物を決めて、そこに向かってひたすら歩く!実はバスに



▲表敬訪問でこれからの研修に意欲満々のケニア勢。大型電機店まで歩いて行ったのはこの3名。早速購入したデジカメでパチリッ!

乗っていたときから、周りの景色や建物をすべて頭に入れていたのです。バスの料金システムは日本の方がしっかりしていますが、大型電機店まで目標物を決めて歩いていく姿に、日本人が忘れつつあるたくましさを感じ驚かされました。



函館

### 開発教育/国際理解教育指導者研修 ～導入編函館～

国際協力推進員/津田 JICA函館デスク(財)北海道国際交流センター内

開発教育/国際理解教育と聞くと「なにやら堅苦しいなあ」と思われる方が多いのではないのでしょうか?しかし、楽しく学び、深く感じる学習方法なのです。

9月19日(土)、開発教育/国際理解教育の導入編を函館で開催しました。開発教育を授業に取り入れたい教育関係者の方から国際情勢に視野を広げている学生達、ただただ興味のあるご近所方まで…様々な方々が参加されました。共にワークショップ等の体験を通じて世界の現状や課題について知り、話し合い、そして理解を深め、笑みある勉強会でした!!



▲みんなで「ひょうたん島問題」を考える

今年も大盛況!

### 「第5回地球まつり」開催報告

毎年、函館近郊で活動されている国際交流・国際協力団体が一丸となり、各団体の紹介を大々的に行う『第5回地球まつり』が、今年も10月4日(日)に開催されました。悪天候の中62団体が参加し、来客数は800名以上!JICA函館ブースは道南在住の協力隊OB・OGのパワーが集結!!民族衣装の試着と写真撮影、パネル・世界のお金・民芸品の展示、海外のお菓子&お茶など充実した内容でした。地域の方々との親睦、OB・OGの友情も深まり思い出に残る「地球まつり」となりました。



▲大盛況のJICAブース、身動きがとれません!



札幌

### 北大生がバングラデシュで歯みがき指導

～草の根技術協力事業の現場から～ 市民参加協力調整員/大弥 JICA札幌

JICA札幌では年5回、市民の皆様へ国際協力を身近に感じてもらうため、「国際協力市民セミナー」を開催しています。53回目の今回は草の根



▲現場で行った歯みがき指導を再現中

技術協力事業で「バングラデシュ国における健康増進のための予防歯科モデル事業」を実施している北

海道大学大学院歯学研究科滝波修一准教授と学生サークル「冒險歯科部」にお越しいただきました。セミナーでは、細菌を多く含む池の水で指で歯みがきを行うバングラデシュの子どもたちの様子や、現地で好評だった紙芝居を使う歯みがき指導方法が再現され、私達に身近な歯みがきもところ変われば重要な健康管理になることを学びました。

▶「冒險歯科」の学生が書いたポスターが、バングラデシュの歯みがき粉の広告に採用されました!

